

柘植地域

# まちづくりだより 第186号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)

発行日 二〇一七(平成)二十九年四月一日(土)  
電話 四五―八八八〇 FAX 四五―八八八三  
〒五二九―一四〇二

柘植地域内12か所にカラー版設置中です

柘植地域俳句コーナー  
春がすみ  
踏切音に  
列車見ゆ  
中西はせと

## 男女別トイレが設置される! …長年の要望、実現



近代的男女別  
トイレが登場

### 柘植駅開業127年目の歴史的出来事

国鉄時代のなつかしさや鉄道遺産の存在を誇り、旅愁を誘うわがまちの柘植駅に歴史的な一歩が記されました。長年にわたり、行政やJR西日本に柘植地域や鉄道利用者として要望を続けてきた男女別トイレが3月23日に「供用開始」となりました。



外観はそのままですが、トイレ内には暖房付きの洋式便器や洗面台、頭上には檜造りの空間にLEDライトが設置され、快適な空間となっています。



### 駅前似ネーション片付けました



28年度草津線サポート業を活用して冬場のにぎやかさを創出をめざして設置したイルミネーション。3月27日に委員会での取り外しを完了しました。

柘植駅を核とした公共交通のあり方を検討する予定です。また次の秋にも改めて設置する予定です。



柘植駅は1890(明治23)年2月19日に三重県最初の駅として開業しました。

柘植小学校卒業式



飛び立つよ  
未来の空へ  
3月18日(土)午前、  
28名(男子20名女子8名)  
が卒業されました。



新生・柘植保育園卒園式



小学校にいても  
元氣いっぱい  
3月24日(金)午前、  
16名(男児9名女児7名)  
が卒園。子どもたちに渡  
された保育証書は新しい  
歴史を刻み、第1号から  
始まることになりました。



卒園式

春に向けて...



市民センター周辺、  
みんなで美化作業  
女性部会  
3月28・29・30日の朝、女性部会が  
中心となって、柘植地区市民センター  
まわりの除草作業を実施しました。  
4月5日には都美恵神社の春祭りを  
控え、すっきりときれいになりました。

情報社会の必須ツール

# スマホに触れたら… 「えっこんなに便利なの？」

3月29日(水)午後、市民センターで、2回目となるスマホ活用研修会を開催しました。



27名が参加し、まち協ホームページの音声検索に始まり、内容の見方、リンク先へのつながりなど、初歩から和気あいあい研修しました。



## 阿保地域(旧青山町)の 区長のみなさんが

### お越しになりました。

伊賀地域内、ヨコのつながりを

3月17日(金)午後、阿保地域自治協議会(旧青山町)の区長部会の方々9名がお越しになり、半田愛副会長、岩倉佳子女性部会長、西田方計事務局長が対応いたしました。

はじめに女性部会の活動や斎王群行の事業運営について、こちらから説明をし、その後、質疑応答や意見交換などを行いました。



女性参画が強く求められる時代ですが、市内どこの地域も女性が活躍していくには難しい面が残っています。柘植地域の先駆けとなるよう、意識向上、実践充実、実進のため。

## 区長さん お疲れさまでした

### あいさつ集②

前号の続きです。(順不同・敬称略)

下町区長 半田三都夫

区長に就任して、はや2年がたちました。私個人としては、まちづくり協議会の健康福祉部会に属しました。この部会には、民生委員さん3、4人も部会員として出席されています。どの区も核家族化、高齢化社会にて高齢者世帯が増えつつある現状です。

その中で、山出区や中柘植区が高齢者を支える体制「見守りネットワーク」の活動を実行しています。また、部会研修で高齢者福祉の先進地である滋賀県高島市への見学にも行きましたが、わが下町区でも検討する余地有りと思っています。

下町区は、102世帯・人口320人ほどですが、高齢化率は42%と年々上昇しています。いわゆる団塊の世代が、現在の年配者(80歳前後)の方の世話をする活動をし、10年後は、今の団塊の世代が世話される年齢になります。よって後継者を育てていく必要があると思っています。

現在、下町区では民生委員さんを中心に「いきいきサロン」「愛のサロン」「下町カフェひとやすみ」の3事業を行って、一人暮らしの方、高齢の方の集う場を提供しています。また農業者の後継者問題、農地の放棄問題があり、遅がけながら区の農

業委員3人ほどで営農集団検討会を始めたところですが、また、核家族化が進むにつれ空き家が増えてきている問題等、この区も一緒だと思えますが、これらの問題を区民一人ひとりが自覚し、区三役・組頭、はたまたまちづくり協議会が一体となって、地域全体で取り組まなければと思います。

**前川区長 林田民生**

ともかくにも、私は中学校卒業以来60歳の定年退職まで、区行事を始めまちづくりの活動そのものも何も知りませんでした。

しかし、区長部会・まちづくりの運営委員会で、旧知の皆様方も何十年ぶりかにお出あいできたことは、良い機会を与えて頂いたものと感謝するところです。

私信ではありませんが、協議会の活動は非常に広範囲であり、各部長、多数の部会員さんがいるとはいえ、予算、人員配置、各集会への動員要請等、事務局を切り回すのは、非常に大変なことだと思います。今後は、行事そのものの見直しを行い、最も住民のニーズの高い行事、多数の住民参加が得られる行事等を選別する必要もあるうかと思われまます。

最後になりましたがこの2年間御懇意にして頂きましたこと、御礼申し上げますとともに、今後もお見知りいただきますようよろしくお願いいたします。

**柘植青葉台区長 鈴木桂子**

柘植青葉台区の実情は、奈良・大阪・地

元(柘植地域)の方々の移住が多く、高齢化率は20%ちょっとです。

若者が多く、休みの日には元気な子ども達の声が響いています。高齢の方の一人暮らしが他の地域に比べて少ないため、切迫した見守り支援の意識はありませんが、民生委員・福祉協力員を中心に毎月、高齢者の集い(青友会)を計画し、コミュニケーションの場・楽しみ場の場を設けています。また、区の行事にも高齢者の積極的な参加があり、区民の方々との交流を深めています。

地元で働く場が少ないため県外に職場を持つ者が多く、朝早く出かけ帰りは夜遅くなることや、保育園・小中学校の役員が回ってくることで等から手一杯という現状があります。また、60歳以上の方は年金支給開始時期の延長や支給額の激減により、元気な方は70歳くらいまで仕事をさせている時間的にも体力的にも余裕がありません。以上のことなどから区の運営、まちづくり活動への担い手が少ないことが一番の課題です。

**小杉区長 松山芳博**

この2年、区の活性化を計るため、先輩諸氏が築き上げられた、区の伝統行事を守り、区民のご理解とご協力のもと、事業をやり遂げられたこと、区民の皆様には感謝です。

現在、少子高齢化と人口減少により、行事の見直しが求められています。一部の人がよるイベントではなく、より多くの人が

楽しく参加できるものなればと思います。昨年、柘植地域まちづくり協議会のホームページがリニューアルされました。情報格差に対する対応も難しい問題ですが、活性化の一つの手段として多くの方にまちづくりに関心を持ってもらえるよう、今後は、みんなの情報共有のツールになり、地域情報や特産物などをアピールできるものになればと思います。

★★★事務局だより★★★

▼春はもうそこまで来ていますが、いまだ寒さを感じる年度末です。前号・今号と子どもたちの卒業卒園を紹介しています。(人数を確かめて)「これだけですか?」という驚きの声をよく耳にします。少子化がハッキリ表れています。▼3月26日の伊賀市議会議員選挙では、山下典子さんが初当選。難局の中の伊賀市ひいては柘植地域のためにぜひとも活躍を期待いたします。一方、体調不良で選挙への出馬を直前に辞退された森岡昭二さんが28日亡くなられました。元伊賀町職員で、初当選は1995年の町議選。在職中は市議会議長をするなど活躍されました。市町村合併による在任特例の5か月間を含めて6期連続で議員を22年務められました。これまでの地域へのご貢献に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。▼各戸にまちづくり協議会の構成員・実行委員の募集案内を配布しています。また部会員や実行委員の募集をいくつか回覧もしています。現実を見据えるとともに、将来の柘植地域のありようを考え行動していただく方々にぜひとも参画願いたく思います。▼臨時総会は4月14日の夜です。(西田方計)

